

環境政策委員会 / 環境保全成果作業部会について  
Environment Policy Committee (EPOC) /  
Working Party on Environmental Performance (WPEP)

1 . 環境政策委員会 ( EPOC )

経済協力開発機構( OECD )の下部機構で、1970 年に環境委員会として設立され、1992 年 4 月に環境政策委員会と改称され、組織強化が行われた。

経済的側面からの環境政策立案に主眼を置いた取組み等を行っており、各国の環境政策を協調的に進めるうえで、中心的役割を果たしている。

2 . 環境保全成果作業部会 ( WPEP )

環境政策委員会 ( EPOC ) の作業部会で、各国の環境の状況を明らかにし、比較可能とする作業を行う。

・ OECD 環境保全成果レビュー

WPEP が作成する国別の「環境保全成果レビュー」は、加盟各国が、環境政策の取組状況について相互に審査を行うものである。

EPOC の新たな主要プロジェクトとして、1991 年 1 月の第 4 回 OECD 環境大臣会合において開始が合意され、1992 年から、加盟国の環境保全への取組について、体系的な審査が順次実施されている。